

平成29年度第2回印旛地域審議会・平成29年度第3回本埜地区地域審議会

合同会議 会議録

- 1 開催日時 平成30年3月15日（木）午前10時～12時
- 2 開催場所 市役所 別館1階 農業委員会会議室
- 3 出席者 印旛地域審議会
石井武雄 会長、笠井重夫 委員、山本昭信 委員、本橋昇 委員
櫻井由紀子 委員、片倉恵美子 委員、竹内仁 委員
本埜地域審議会
鳩貝太郎 会長、土井栄 委員、笠井博 委員、織原拯 委員、植木清 委員
岩井とし子 委員、田波英俊 委員、颯佐春美 委員、鳥羽功雄 委員
- 4 欠席者 印旛地域審議会：小関 征二 委員
- 5 事務局 企画政策課：酒井企画財政部参事、林主幹、金子主査、中島主査補
- 6 傍聴者 1名
- 7 議事 第7次実施計画事業について
- 8 議事録 要点筆記

鳩貝会長： 議事 第7次実施計画事業について、事務局より説明願います。

事務局： 資料に基づき説明

鳩貝会長： 事務局の説明が終わりました。第7次実施計画事業についてご意見ご質問を伺います。

鳥羽委員： 186 都市再生機構事務所用地の活用について、取得する面積と価格及び活用方法を教えてください。

事務局： 取得面積は約7,600m²、価格は約5億3千万円です。活用方法は、隣接する地域交流館と一体的に活用等して、市民サービスの向上になるよう活用していきたいと考えています。

鳥羽委員： 印西市の知名度はそれほど高くないと思います。知名度を上げるために情報発信の場所として道の駅という考えはありますか。

事務局： そのようなご意見をいただきながら、市役所全庁的に検討していきたいと考えています。

岩井委員： 81 土地基盤整備事業の促進について、田畑の耕作放棄地対策はどのようになっていますか。

事務局： 耕作放棄地対策として、農地中間管理事業の促進等を実施しています。
農林水産省が平成30年2月に発表した「米をめぐる状況について」によりますと、日本の人口は2010年の約1億2,800万人をピークに減少局面に入っており、2050年には約9,700万人に減少すると予測されています。また、年間1人当たりの米の消費量は昭和38年約120kgをピークに減少を続け、平成27年には約55kgになっています。このような状況ですので、米の年間需要量は毎年約8万トンずつ減少しています。そのため、米は海外への輸出に目を向けていかざるを得ないとしています。

笠井委員： 米価が安いのが1番の問題で、農業従事者の高齢化が進んでいる。また、跡継ぎも居ない状況となっている。農業委員会でも問題に取り組んでいるが、なかなか難しい。

山本委員： 166 住宅相談窓口の充実について、空家等対策計画を策定するとしていますが、佐倉市の空家対策は不動産業者と協力して実施しています。印西市も実施したらどうか。

事務局： 近隣市の状況を踏まえて、平成31年度と平成32年度で計画を策定します。また、市は、千葉司法書士会や印西市シルバー人材センターと協定を締結して空家対策を実施しています。

竹内委員： 143 印旛中央地区の都市的土地利用の促進、122 文化ホール大規模改修工事の実施設計、196 広域化連携対策の強化について内容説明をお願いします。
また、57 高齢者在宅福祉事業の福祉タクシー、156 コミュニティバス運行事業及び157 路線バス運行対策事業と併せて、平成29年度印西市市民満足度重要度調査報告書の134頁の合併後の市について感じることを考えると、

カーシェアリングやオンデマンド交通を活用して市民の交流の機会を提供できるようにお願いしたい。

事務局： 143 印旛中央地区の都市的土地利用の促進は、印旛中央地区の開発事業がどのように実施をすれば可能になるかを検討する予定です。また、市は都市再生機構が所有する用地を平成29年度末に取得する予定です。

122 文化ホール大規模改修工事の実施設計は、建物の屋根や外壁等を改修して長寿命化を図るものです。

196 広域化連携対策の強化は、広域化連携体制の強化と近隣自治体とのまちづくり連携を統合して広域化連携体制の強化にしました。統合前の広域化連携体制の強化は、印旛郡市の市町で構成する印旛郡市広域市町村圏事務組合で行っている水道事業等の事業です。また、近隣自治体とのまちづくり連携は手賀沼・手賀川に関連して、印西市、我孫子市及び柏市と連携して各市が事業を行っています。

156 コミュニティバス運行事業は、本埜第二小学校区においてワンボックスタイプの車両で安食駅や日本医科大学千葉北総病院等へ朝昼夕に運行予定です。

157 路線バス運行対策事業は、臼井駅と印西牧の原駅を結ぶ路線ルートを新たに増やす予定です。

竹内委員： 印旛地区から文化ホールへの交通手段がありません。交通体制をお願いします。

石井会長： 印旛中央地区の都市再生機構の所有地は市が無償で取得するのですか。また、市は事業主体又は地権者どちらで事業を進めるのですか。

事務局： 市は、今年度末に都市再生機構から用地を無償で取得する予定です。市が事業主体又は地権者どちらかで進める等について今後検討していきます。

鳩貝会長： 平成29年度印西市市民満足度重要度調査報告書の127頁から市民が期待しているものは交通対策であると結果が出ている。市民に分かる対策が必要であると思います。

片倉委員： 164 景観計画の推進について、内容説明をお願いします。また、市内の農地には多くの太陽光発電があるが、市の考えをお願いします。

印旛地区では印旛沼がありますが、その観光等事業について市の考えをお願いします。

事務局： 景観の関係については、平成30年度に条例を制定して皆様にご協力をお願いしますものです。農地等の太陽光発電は、太陽光による発電は再生可能エネルギーの活用になるので基本的には促進するものですが、その事業用地の開発に伴い実施する埋め立てに使用する土などの問題もありますので、一定のルールが必要になると思います。

観光については、平成30年度は172 シティセールスの推進で知名度アップ等について取組んでいく予定です。

片倉委員： サイクリングロード等、印旛沼の観光にも力を入れていただきたい。
東京電機大学の跡地についての市の考えを教えてください。

事務局： 東京電機大学に確認したところ、情報環境学部は移転しますが、千葉ニュータウンキャンパスは、今後も研究等に活用していくそうです。

鳩貝会長： 他にありませんか。無いようでしたら、本日の議事はこれで終了とさせていただきます。事務局に進行をお返しいたします。

事務局： その他でございますが、配付させていただいた平成29年度印西市市民満足度重要度調査報告書の概要についてご説明させていただきます。

事務局： 平成29年度印西市市民満足度重要度調査報告書の概要について説明

事務局： それでは以上をもちまして、平成29年度第2回印旛地区地域審議会、平成29年度第3回本埜地区地域審議会の合同会議を終了いたします。

長時間にわたりありがとうございました。

会議資料

会議次第（A4 1枚）

資料1 第7次実施計画の概要について（A4 1枚）

資料2 第7次実施計画事業一覧（A4 8枚）

平成29年度印西市市民満足度重要度調査報告書

平成29年度第2回印旛地区地域審議会・平成29年度第3回本埜地区地域審議会
合同会議の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

平成30年4月5日

印旛地区地域審議会委員 片倉 恵美子

本埜地区地域審議会委員 颯佐 春美